

平成28年度 物療校友会総会議事録

開催日時：平成29年7月15日（土）15：00～16：50

開催場所：難波御堂筋ホール

出席者：18名+委任状141通=159名

- 一. 開会の辞 西副会長（平成17年卒）
- 二. 会長挨拶 辻 清文（昭和47年卒）
- 三. 来賓紹介 的場 徹（大阪物療大学同窓会会長）
八島洋介（ ” 副会長 ）
小西勇輔（ ” 副会長 ）
- 四. 来賓挨拶 的場 徹（大阪物療大学同窓会会長）
- 五. 総会役員

資格審査委員 宮原 哲也（平成25年卒）

総会運営委員 中村 憲治（平成24年卒）

議長 岡崎 泰三（昭和62年卒）

書記 喜田真一郎（平成24年卒）

議事録署名人 安田 憲幸（昭和44年卒）の選出。

審議を行う前に資格審査委員宮原哲也氏より

校友会会則第21条第4項に基づき本総会成立の旨説明。

六. 議事審議

1. 平成28年度事業報告について 執行部 北村副会長より報告。
2. 平成28年度決算報告について 執行部 深瀬副会長より報告。
3. 平成28年度監査報告について 監事 芝本氏より報告。

議長が1～3号議案の承認を諮り、賛成多数で承認された。

4. その他の議案として、同窓会との合併に関する現状について辻会長より以下の内容の説明がなされた。

約5年前から活動してきた大阪物療大学同窓会との合併について、本年の6月4日に開催された大阪物療大学同窓会の定例総会で合併案が満場一致で可決された。これを受けて執行部は今年度をもって物療校友会を解散し、大阪物療大学同窓会と合併すべく準備を進めていた。ところが7月3日に大阪物療大学同窓会の八島副会長が理事長と面談した際、合併を白紙撤回すべきとの指摘があった。その理由として、大阪物療大学同窓会が会費徴収方法も確立できておらず、安定した運営もできていない、合併の時期は同窓会が組織

として力を付けてからである、との内容があげられた。大阪物療大学同窓会執行部は、学園による会費代理徴収を了承してもらう事を優先し、合併の白紙撤回に同意し、総会での合意内容を覆す結果となったことを臨時総会にかけ活動を軌道に乗せることとした。その反面、今後も早期に合併できるよう努力したいとの事であった。これを踏まえて引き続き今年度も合併に向けて大阪物療大学同窓会への支援を行っていききたい。

議事4に対して、以下の意見・質問があった。

- ・ 今まで何度も同じ話を繰り返してきた。学校が主体で話が進むため潰される。物療校友会が主体となって魅力のある会にしてほしい。
- ・ 合併に向けてこれまで協力してきたが、今年度はどのような支援を考えているのか。
- ・ 率直な意見として何のために大阪物療大学同窓会や物療校友会があるのかわからない。学校からのサポートも得られない状況であれば解散すべき。
- ・ 自分の知る範囲での話だが、学会などで物療OB会の勢いを感じられない。他校はOB会なども活発である。やり方を変えて、卒業生を対象に集まれる会を作ればいい。
- ・ 物療校友会執行部は合併時に、会員の入会金や会費をどうしようと考えていたのか。
→校友会会員は入会金および年会費を物療校友会に対し納めているため、合併時には自動的に移籍し、校友会に残った予算を大阪物療同窓会に移譲することで、入会金および会費としていただく旨を大学同窓会執行部、総会にて決議を得ていた。

辻会長より

物療校友会や大阪物療大学同窓会は物療学園を卒業したOBが唯一入会できる組織であり、その組織がなくなることは避けたい。しかしながら、合併をしないままでの存続は不可能である。現行の役員任期が残り1年であるため、本年は合併に向けて今できることを行っていききたいと考えている。それでも事が進展しないようであれば、引責辞任、解散も辞さないと考えている。

議長が4号議案の承認を諮り、賛成多数で承認された。

5. 平成29年度事業計画(案)について執行部 北村副会長より説明。

6. 平成29年度予算(案) について執行部 深瀬副会長より説明。

執行部より補足

この計画案は合併が白紙撤回される前に作られたものである。執行部としても解散すべきか、合併事業を継続すべきか等について検討してきた。本日の総会で会員の皆様の意見を受けて、合併事業について物療校友会側から手を引くようなことはすべきではないと考えている。また、物療校友会自体をより魅力のある会にするための事業について前向きに検討し、来年度総会には皆様に報告できるようにしたい。

以上を踏まえて、今回は現状のまま5～6号議案を通して頂きたい。合併事業について

は計画案から削除してしまったため、継続することについて会員の皆様に賛否を諮らせて頂きたい。

上記を受け、合併事業を継続することを議長が採決、賛成多数で継続することとなった。議長が5～6号議案の承認を諮り、賛成多数で承認された。

7. その他

会員・執行部共に審議事項無し。

以上をもって全ての議事が終了し、16時50分に閉会となった。

七. 閉会の辞 (西副会長)

この1年の間に色々な事があったが、本日の総会で会員の皆様の忌憚のない意見を聞くことができ、改めて執行部に多大な期待が寄せられていることを再認識した。任期は残すところ約半年ではあるが、少しでも皆様の為になる校友会であるように頑張りたい。役員の中でも意見の分かれるところではあるが、最終的には一つのOB会になれるよう努力したい。

議事録作成日 平成 29 年 7 月 26 日

議事録作成者 喜田 真一郎

議事録署名人 安田 憲幸 ④

以上